



# みなさんこんにちは

ホームページアドレス <http://www.nukushina-e.edu.city.hiroshima.jp>

学校だより 2月号  
平成24年2月1日  
広島市立温品小学校

朝の冷え込みが厳しくなり、家々の屋根が白い日が多くなる一番寒い時期です。インフルエンザも第2のピークも峠を越えて、徐々に終息に向かっているようです。まだまだ、油断はできませんが、子ども達は、寒さを忘れて元気のよい声を校庭に響かせています。どの子どもも元気に学年が締めくくられるように一日一日を大切にしていきたいと思えます。



## **保護者アンケートへのご協力、ありがとうございました**

先日行いました「保護者アンケート」へのご協力ありがとうございました。学校をよりよくするための貴重なご意見やご助言も数多くいただきました。ただ今、分析をして皆様方にお返しできるよう準備しているところです。また、これからも学校へのご意見やご相談がありましたら、遠慮なくお申し出ください。

## **蕾(つぼみ)の時期**

まだまだ厳しい寒さの続く季節ですが、自然界を注意深く見ると、そこに春の息づかいを感じることができます。正門の両脇にある桜の木の蕾もだいぶ大きくなってきました。

あたたかな春に咲く桜の花は、それは見事なものです。しかし、そこに至るまでには、蕾として過ごす、冬の寒さも必要なのです。

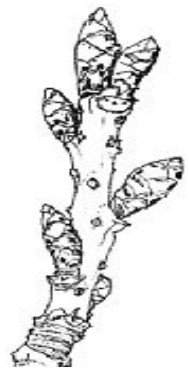
寒くて、大きく成長できないこの時期は、じっくりと栄養を蓄え、咲かせる花のつくりをしっかりと整える時期です。あたたかくなり成長できる時が来たときに、蓄え整えたものを元に、見事な花を精一杯に咲かせるのです。

同じように、人にも蕾の時期が、必要なのではないのでしょうか。もちろん人によって違いはあると思いますが、長い人生で考えれば、子どもたちは、まさに蕾の時期だと思います。また、学校で過ごす期間で考えても、一つのことを習得したり、学んだりするときにも、同様の蕾の時期があると思います。

この蕾の時期は、耐える時期です。子どもたちは不安になったり、逃げたりしたくなるのが少なくありません。そんな蕾の子どもたちに対して、周りの大人たちは、どんなことができるでしょうか。

まずは、蕾である子どもたちをしっかりと見守ることだと思います。冬の寒さのような厳しい環境を経験することも必要ですが、厳しすぎて枯れないように見守ることを忘れてはいけません。それから伸びていくための栄養を与えることができます。栄養といっても特別なものではなく、不安となっている子どもに自信を持たせるような言葉かけや、ちゃんと見ているという姿などです。栄養は、良い栄養も悪い栄養も着実に子どもたちに蓄えられます。子どもたちが自信を持って前に向かって進めるような良い栄養を与えたいものです。

結果が早く求められる現代社会ですが、焦りすぎることなく見守り、前向きな言葉かけなどを行って行けば、蕾の子どもたちは、きっと自分たちの素晴らしい花を咲かせることでしょう。



## レインボーキッズグループ遊び

温品小学校には、レインボーキッズという縦割りのグループがあります。1年生から6年生までの児童が10人程度のグループになり、年間を通していろいろな活動を行います。今年度は、レインボーキッズグループ遊びや、温品ギネスオリエンテーリング、あいさつ運動などに取り組みました。

1月13日（金）には、今年度最後のレインボーキッズグループ遊びがありました。すっかり顔なじみになり、高学年のお兄さんお姉さんに寄り添う低学年の姿や、低学年の希望を聞きながら遊びを決める高学年らしい姿が運動場にあふれていました。仲良く遊んでいる子どもたちや、一緒に遊んだり、見守ったりしながら支える先生方を見てみると、冷たい風が吹く運動場でしたが、心の中にはとても温かい風が吹きまわりました。

今年度の活動は終わりましたが、これからも学年の枠を越えて、困ったときには助け合える、言葉をかけ合える仲間であってほしいと思います。



## 1年生「昔遊び交流会」

1年生は、生活科の学習で「昔遊び交流会」を行いました。11人の地域の方に来ていただき、「こま」「けん玉」「あやとり」「お手玉」「手作りかざぐるま」「はねつき」の6つのコーナーに分かれて、遊び方を教えていただきました。

子どもたちは「先生見て見て、今日初めてやったのにできるようになったんよ。」「あやとりで、ほうき作れるよ。」などと、上達したお手玉やあやとりの技を披露していました。

また、「はねつき楽しい！」と満面の笑みを浮かべたり、「〇〇さん一緒にねつきしよう。」と誘い合ったりする様子からは、2年生を目前



にしている子どもたちの成長ぶりがうかがえました。

子どもたちは、このような活動を通して、また周りの方々に支えられて大きくなっていくのでしょうか。温品小学校では、本当にたくさんの方々、子どもたちを支援してくださっています。

寒い中、ご指導してくださいました地域の皆様、ありがとうございました。



## ストップいじめ！サミット

平成23年12月26日（月）にアステールプラザにおいて、「ストップいじめ！サミット」が開催されました。広島市の各小・中学校の児童会・生徒会役員や先生、保護者、地域の方々が集まって、いじめ防止について考える場を持つという取組に、本校からも児童会役員3名が参加しました。

いじめを防止するために、児童会・生徒会の児童生徒が中心になって取り組んだ他校の実践例を聞き、本校の児童会役員も、いじめをなくすためには人を思いやる心と行動が大切だということを学んできました。レインボーキッズの活動などを通して、子どもたちから発信して仲間づくりの輪が広がっていくよう、本校でも取り組んでいきたいと思ひます。

## うがい・手洗い週間

インフルエンザや風邪が流行する時期になりました。学校では、「うがい・手洗い週間」を設け、習慣が身に付くよう、毎日指導しています。

その成果もあり、大休憩後や、給食前、掃除後には、水道の前から「ガラガラガラガラ」という音が聞こえてきます。口の中に水をふくむブクブクうがいではなく、のどをスッキリきれいにしている音です。また、服の袖を上げて、手首や手の甲まで洗っている子どもたちもたくさんいて、清潔な手で次の学習や給食をむかえています。



うがい、手洗いの他にも、「せきエチケット」や予防のためにマスクやタオル、ハンカチを使用すること、体調管理のために早寝早起きをすることなど、冬の時季だけでなく、健康な体を保つための生活習慣として身に付けてほしいと思います。

保護者の皆様、引き続き、お子様の体調管理をよろしくお願いいたします。

## 4、5、6年生 ゲストティーチャーによる特別授業

### 子どものための優れた舞台芸術体験事業

安芸郡府中町在住で広島を中心に活躍しておられる、声楽家の工西美穂先生をお迎えしました。

音楽科の授業で、歌うことの楽しさ、声の出し方について、指導してくださいました。歌おうとすると、「息を吸うこと」に意識が向きがちだけれど、歌うことに大切なのは、「息を上手に吐くこと」なのだそうです。参加した子どもたちも、腹式呼吸を練習し、のどの奥を開くように意識して声を出すと、とても美しい歌声に変わりました。



最後に聴かせてくださったオペラの歌声は感動的で、子どもたちはまばたきを忘れるぐらいに聴き入ったほどです。歌が終わると、思わず出た拍手が、しばらく鳴り止みませんでした。

工西先生は、プロとしてのテクニックだけでなく、人間的にも魅力にあふれた素晴らしい方で、子どもたちの瞳や笑顔が輝いていました。卒業を目前にした6年生、そして高学年として温品小学校をリードしていく4、5年生にとって、とても貴重な体験となりました。

<2月の授業参観・懇談です。ぜひお越しください>

学年	月日(曜日) 時間	場所
1年生	2月17日(金) 5・6校時	体育館
2年生	2月14日(火) 5・6校時	体育館
3年生	2月21日(火) 5・6校時	体育館
4年生	2月27日(月) 5・6校時	体育館
5年生	2月24日(金) 5・6校時	体育館
6年生	2月24日(金) 5・6校時	各教室
ひまわり	3月7日(水) 5・6校時	教室

